

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年1月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676300173
法人名	有限会社 すりい
事業所名	グループホーム ふれあい館
所在地	鹿児島県曾於市大隅町月野3486-6 (電話) 099-482-5333
自己評価作成日	平成29年10月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・ふれあい館の理念である「ゆったりとさりげなく住み慣れた地域の中であなたがあなたらしく」を心掛け、利用者様、ご家族の思いに寄り添いながら職員も共に生活をする仲間(家族)として支援を行っています。
- ・「信頼」「協力」「理解」を常に心がけ、チーム力を生かして認知症介護のプロを目指し、日々、精進しています。
- ・地域の福祉資源の一つとして、自分たちのできる役割を考えながら地域貢献に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 利用者の思いや意見は、日常の会話や仕草等から汲み取るようにしており、また、家族からの意見については、来所時や毎月のお便りに管理者と職員のコメントを載せて送付することで感想を聞き支援に反映させている。また、遠方の家族には、携帯電話のメールでやり取りし、その際に写真を添付するなどして日頃の様子や行事の様子を伝えている。
- 利用者の生活を支えるには家族や地域との連携、関係機関との関わりを職員全員で関わる必要があるとの認識のもと、チームワークを大切にしたいと考え、職員の心得3カ条(信頼、理解、協力)を掲げて、これらを意識しながら日々支援につなげるよう努めている。
- 生活するうえで楽しみとなる食事については、特に献立表を立てることはしておらず、その日に食べたいものを利用者に尋ねたり、旬の食材を使ったメニューを利用者と職員が会話を楽しみながら一緒に食べている。刻み食など食事形態に工夫が必要な場合は、刻む前のものを見てもらったうえで提供するなど、細やかな気配りを行っている。
- 定期的実施している運営推進会議では、事業所の行事や活動に関するアドバイスや防災に関する意見等がメンバーから活発に出され、業務の改善や運営に反映させており有意義な会議となっている。

<ふれあい館1階>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>基本理念はわかりやすい言葉にして掲示している。毎朝1階2階合同の申し送りをして、共通認識を持つように努めている。</p>	<p>理念の「ゆったりとさり気なく」にあるように、利用者のペースに合わせた過ごし方やフロアでの居場所作りに配慮するとともに職員の接し方や対応が理念に即しているかをこまめに話し合い実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の交流や行事へ積極的に参加をし、地域に根づく施設を目指している。</p>	<p>利用者は加齢により介護を多く必要とするようになってきているため、地域に出かけることは少ないが、それでも敬老会や小学校の運動会に参加するなどしており、今後も地域の一員として協力し合い参加していけたらと考えている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の小学校へ福祉講座、社協依頼の講話、共同募金の分配審査員など努め、地域に貢献できる施設を目指している。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を行い、意見交換を行っている。会議での意見も職員会議などで話し合いをして迅速に対応している。また、会議議事録は必ず推進委員へ送付している。</p>	<p>会議には家族代表や地域住民、行政職員らが参加し、事業所の活動内容や外部評価の結果報告等を行っている。メンバーからは職員の接遇に関することや行事のアイデア、防災の意見をもらうなど活発な話し合いが行われており、業務の改善につながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政主催の勉強会へも積極的に参加をしている。また、サービス運営等で疑問が生じた際などは、相談などもしている。	行政職員とは日頃より、認定の更新や相談事が生じた際に出向くほか、管理者は認定審査会や福祉計画策定委員、認知症ホームの会の会長職を務めており、常に連携が図れている。また、地域の相談窓口開設に向け、現在行政と調整中である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。	身体拘束廃止マニュアルを備えるとともに、定期的に身体拘束に関する研修や高齢者虐待防止に関する研修を実施している。言葉による拘束については、極力柔らかく、さり気なく声をかけるようにし、不適切な対応がみられた場合はその都度職員間で確認し話し合うようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。又、行政や包括支援センター等へも相談・助言等を頂きながら、対応をするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、重要事項説明書、サービス利用契約書、同意書等にて説明を行い、利用者の思いも含め、ご家族の了解を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から利用者やご家族の要望等や思いを意識して聴くように努めている。外部評価のない年は、家族アンケート（無記名）を行い、ご家族の要望や意見を伺えるように取り組んでいる。アンケートの結果も家族へお知らせしている。</p>	<p>利用者の思いや意見は日常接する中で見せる仕草等から汲み取るとともに、家族からは毎月のお便りにコメントを添えて送付したり、面談の際の言葉から気付いたことを運営に反映させている。外部評価のない年にはアンケートを取るなど常に意見を求め、対応する姿勢を持つ様に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から職員の意見や提案を汲み取るように努めている。必要に応じて、個人面談の場も作り相談等にも応じている。</p>	<p>代表者や管理者は日頃より職員とこまめに会話を交わし職員同士が連携して働けるよう調整しており、小さなことでも意見を出しやすい関係にある。また、勤務表作成時は休みの希望に可能な限り対応するなど、働きやすい環境づくりに努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の要望等の含め、柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得や研修参加など積極的に支援をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム連絡協議会に参加し、他のグループホームとの交流や情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点から「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は「共に生活をする仲間(家族)」の思いを持ちながら、日々の暮らしの中で感情を共有しあう関係を大切にして支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように支援をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染みの関係性を大切にしたい支援をしている。(自治会への参加や墓参り、家族や知人との外食等)	知人が公民館通信を届けてくれたり、元同僚との交流の継続など、これまでの人間関係が途切れないよう家族と職員が協力し合い支援している。また、結婚式等の冠婚葬祭についても本人や家族の希望に合わせて出席を支援するなどしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性を見極め、利用者同士の関係作りにも努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等でサービス利用(契約)が終了しても、その時の状況に応じて、支援を継続するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で言葉やしぐさ等で一人ひとりの思いを把握するように努めている。また、朝の申し送り時は1階2階合同で行い、情報の共有に努めている。	思いや暮らし方の希望をうまく表現できない場合は、日々の行動や表情から汲み取るとともに、家族や入居前に関わっていた事業所からも情報を集めるなど、本人の気持ちに、より近づけるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得られた個人情報だけでなく、日々の暮らしの中で「その人らしさ」が活かせるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から一人ひとりの生活リズムを把握しながら、本人の望む生活が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活で本人、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成している。また、カンファレンスやモニタリング、定期的な担当者会議にて、本人、家族、担当医、職員の意見を反映するように努めている。	本人、家族の意向を把握したうえで、3ヵ月毎または随時モニタリングを実施しており、往診等受診時の医師の意見も参考にしながらケアプランを作成している。また、身体状況の変化に合わせ、その都度ケアプランを見直し、現状に即したものにするなど、日頃より利用者の日々の様子を見守り、状態把握に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌だけではなく、毎朝1階2階合同の申し送り時、気づきや話し合いをして介護実践へつなげるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向を取り入れながら、関係機関等と協力しながら、取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めている。	受診前の報告と相談事の違いに応じてシートを使い分けており、受診前は「病状連絡報告書」を、相談時には「施設病院との連携相談情報共有」シートを用いてそれぞれに指示をもらっている。把握した内容は申し送り時に報告し共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃から、協力医療機関と連携を取り医療面、健康面の相談を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関と連携を図りながら、その時に応じた支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>基本「看取り」は行っていないが、本人や家族の意向があれば、協力医療機関、訪問看護機関と連携を図り取り組んでいる。また、日頃より家族とも状態変化時の対応等についても話し合うようにしている。</p>	<p>基本的に看取りは行わない方針としているが、共に生活し馴染みのホームでの最期を望まれた場合は、関係機関と連携し看取りまで対応しており、実際過去に看取りの経験もある。そのため、訪問看護による講話など重度化や看取りの勉強会も実施し、知識や技術の向上にも努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は、定期的に救命救急講習を受け、心肺蘇生法の訓練を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年一回の防災避難訓練だけでなく、自主訓練も行っている。また。非常食等の確保、貯水タンクにより水確保も行い、非常事態時には地域へ解放できる施設を目指しています。</p>	<p>災害訓練を年2回実施するほか、2ヵ月に一度、通報手順や避難経路の確認、AEDの操作手順の確認など、職員全員がすべての手順を習得できるよう自主訓練を実施している。備蓄に関しては、非常食が一目でわかるよう、また持ち出しやすいようケースにて保管されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、言葉かけ等に配慮しているが、不十分なこともある為、繰り返さないように努めている。	プライバシーに関する研修を実施し、トイレ誘導の際はさり気なく声をかけるなど、日々、言葉遣いや接し方に気を配り支援している。個人カルテの管理やポータブルトイレの扱いについても外部の方の目につかないよう配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の状況に応じながら、要望や気持ちを表現できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は決めておらず、利用者が自由に「自分らしく」過ごせるように支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域の理容店へ訪問理容を依頼したり、希望の美容室へ行くこともある。居室での化粧等も支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事に季節の材料を使い、季節感を感じてもらえるように努めている。	利用者に食べたいものを尋ね当日にメニューを決めて調理しており、職員も同じメニューを会話を楽しみながら食べている。また、季節に合わせた行事食の提供や、刻み食の方には、刻む前の状態を見てもらったうえで調理するなどの気配りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	本人の好み摂取量に応じて対応 している。また、食事形態にも 工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	チェック表を用いて対応してい る。歯磨き、うがい等、本人に 合わせて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて支援 を行っている。排泄のパター ン、本人の状況を把握して排泄 の支援、オムツの支援を行って いる。	ポータブルトイレを使用する方も日 中は基本的にトイレでの排泄を支援 するとともに、パットやリハビリパ ンツの交換のタイミングを見計らっ たり、立位保持や座位保持がトイレ での排泄の境界線と考えて支援する など、補助具の使用を減らす努力を 行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを用いて、本人の パターンを把握して支援を行っ ている。また、水分補給もこま めに行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めていない。利用者の要望に対応できるように努めている。	特に入浴日は決めておらず利用者の希望に合わせて支援している。入浴介助や軟膏塗布など羞恥心に配慮して同性介助にて実施している。入浴したくないと言われた時は、話をよく聞き、話題を工夫することで無理強いしない入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝・起床時間も決めておらず、その人のリズムに合わせて支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服チェックを用いている。服用困難な場合はかかりつけの薬剤師と相談を行い、服用につなげている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の「できる力」を活用できるように、声かけや支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人やご家族の要望があった場合は、外出等の付き添い、送迎等の支援を行っている。	加齢による体力の低下のため、以前のように頻繁に外出することは難しくなったが、なるべく外出できるよう、花見や小学校の運動会、やごろう祭りの見学等行事計画に組み込み外出している。また、個別に希望する外出先や冠婚葬祭に職員が同行するなど可能な限り自由な外出を支援できるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人やご家族の要望に応じて支援を行っている。金銭管理については、事務所の協力を頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の利用についても支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の応じた花等をテーブルに飾ったり、壁面へ大きなカレンダーで季節感を取り入れている。</p>	<p>2階建ての造りとなっており、エレベーターで行き来できる。フロア内には利用者と職員と一緒に作った作品やクリスマスツリーが飾られるなど、季節感を大切にしていることがうかがえる。また、テーブルやソファなど十分に用意されており、パーソナルスペースへの配慮もなされている。空調に関しても、換気や空気清浄機を用いるなどの配慮がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>場所を特定せず、自由に過ごせるように努めている。お茶を飲みながら、おしゃべりができるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い慣れた物や愛着のある品を持ち込めるように支援している。又、本人が使いやすいように家具の配置を行っている。</p>	<p>エアコンとベッド、棚が備え付けられ、自宅から持ち込まれた位牌や写真、ぬいぐるみ等馴染みの品が飾られている。毎日線香をあげる利用者がおられるため、職員はさり気なく火の取り扱いを見守るなど、これまでの習慣を大切に支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>「自分のできる事」を生活に生かせるように努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目 <ふれあい館1階>

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

<ふれあい館2階>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念はわかりやすい言葉にして掲示している。毎朝1階2階合同の申し送りをして、共通認識を持つように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の交流や行事へ積極的に参加をし、地域に根づく施設を目指している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の小学校へ福祉講座、社協依頼の講話、共同募金の分配審査員など努め、地域に貢献できる施設を目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、意見交換を行っている。会議での意見も職員会議などで話し合いをして迅速に対応している。また、会議議事録は必ず推進委員へ送付している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政主催の勉強会へも積極的に参加をしている。また、サービス運営等で疑問が生じた際には、相談などもしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。又、行政や包括支援センター等へも相談・助言等を頂きながら、対応をするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、重要事項説明書、サービス利用契約書、同意書等にて説明を行い、利用者の思いも含め、ご家族の了解を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から利用者やご家族の要望等や思いを意識して聴くように努めている。外部評価のない年は、家族アンケート（無記名）を行い、ご家族の要望や意見を伺えるように取り組んでいる。アンケートの結果も家族へお知らせしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から職員の意見や提案を汲み取るように努めている。必要に応じて、個人面談の場も作り相談等にも応じている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の要望等の含め、柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得や研修参加など積極的に支援をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム連絡協議会に参加し、他のグループホームとの交流や情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時点から「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は「共に生活をする仲間(家族)」の思いを持ちながら、日々の暮らしの中で感情を共有しあう関係を大切にして支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように支援をしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の馴染みの関係性を大切にしたい支援をしている。(自治会への参加や墓参り、家族や知人との外食等)</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人ひとりの個性を見極め、利用者同士の関係作りにも努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>長期入院等でサービス利用(契約)が終了しても、その時の状況に応じて、支援を継続するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で言葉やしぐさ等で一人ひとりの思いを把握するように努めている。また、朝の申し送り時は1階2階合同で行い、情報の共有に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得られた個人情報だけでなく、日々の暮らしの中で「その人らしさ」が生かせるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から一人ひとりの生活リズムを把握しながら、本人の望む生活が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活で本人、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成してる。また、カンファレンスやモニタリング、定期的な担当者会議にて、本人、家族、担当医、職員の意見を反映するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌だけではなく、毎朝1階2階合同の申し送り時、気づきや話し合いをして介護実践へつなげるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向を取り入れながら、関係機関等と協力しながら、取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃から、協力医療機関と連携を取り医療面、健康面の相談を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関と連携を図りながら、その時に応じた支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>基本「看取り」は行っていないが、本人や家族の意向があれば、協力医療機関、訪問看護機関と連携を図り取り組んでいる。また、日頃より家族とも状態変化時の対応等についても話し合うようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は、定期的に救命救急講習を受け、心肺蘇生法の訓練を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年一回の防災避難訓練だけでなく、自主訓練も行っている。また。非常食等の確保、貯水タンクにより水確保も行い、非常事態時には地域へ解放できる施設を目指しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から利用者一人ひとりの人格を尊重した対応を心がけている。また、基本台帳は相談室の鍵のかかる棚に保管し、外来者の目につかない場所に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より、利用者一人ひとりが自分の思いを表現できるような雰囲気作りに努め、声かけや支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課は決めず、利用者一人ひとりが「自分らしい」生活が出来るように支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域の理容店へ訪問理容を依頼している。また、希望があれば職員が毛染めの支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の重度化により、一緒に行う場面が少なくなっている現状であるが、食材に季節感を取り入れたり、行事食を取り入れ、楽しみをもてるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、食事チェック表を基に、一人ひとりの好みや食事形態を把握して支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔チェック表を基に、一人ひとりの口腔状態を把握して支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を基に一人ひとりの排泄状況を把握して支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を基に、一人ひとりの排便状況を把握して支援を行っている。また、ラジオ体操を取り入れて、適度な運動にも心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めておらず、利用者の要望に沿えるように支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝・起床時間も決めておらず、利用者一人ひとりのリズムに合わせて支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服ファイルを作成し、一人ひとりの内服状況を把握し、変更などあった場合もその都度報告、確認をしている。服薬チェック表を使い、服薬確認も行っている。又、服薬困難な事例などかかりつけの薬剤師等へ相談等も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの「出来る力」を見極め、本人らしさが引き出せるように声かけや支援を行っている。(エプロンたたみやタオルたたみなど)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の要望を汲み取りながら、外出への支援を行っている。また、御家族や本人の希望があれば、外出時や冠婚葬祭等の付き添い支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの要望に応じて支援を行っている。現金を持ちたい利用者へは、家族の了解のもと、紛失防止の為、本人の自尊心に配慮した金銭確認を毎日おこなっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の要望に応じて家族や知人等との連絡（電話や携帯のLINE）など、支援を行っています。また、毎月、ご家族へ「お便り」を送付し、利用者様の様子をお伝えしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた品物（花・小物等）をホール、壁面等にレイアウトし、季節感等を取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫している。壁に大きな日付けを掛け、利用者に月日をわかりやすくしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>場所を特定せず、一人一人が、自由な場所で思い思いに、過ごせるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が、使い慣れたもの、愛着のあるものを持ち込んで、居心地良く過ごす事が出来るように工夫している。(位牌の持ち込みなど)</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>「自分のできること」を生活に活かせるように努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目 <ふれあい館2階>

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない